



## ルーム・トゥ・リードの

## 現地訪問で予想されること

ルーム・トゥ・リードの活動を直接ご覧にお越しいただけることを、感謝申し上げます。

下記情報は、現地訪問で予想されることをイメージしていただくために用意しました。加えて念頭に置くべきは、プログラム活動実施国で、たとえ設備やサービスが整っている学校があったとしても、先進国の学校とはまだ差があるということです。状況に応じて、臨機応変にご理解、ご判断をいただけますと幸いです。

### 現地訪問の流れ

訪問者に、現地事情に精通したスタッフや関わりのあるコミュニティと、しっかりコミュニケーションを取り、充実した体験をしていただくため、全てのルーム・トゥ・リードの現地訪問においては、下記のような流れで行います。

- ルーム・トゥ・リード現地スタッフと顔合わせをし、簡単なオリエンテーションを行います。訪問中に想定されることや、皆様が訪問する国でのルーム・トゥ・リードの活動などをお伝えします。
  - 通常、オリエンテーションは、ルーム・トゥ・リードの現地オフィス、滞在先のホテル、またはプロジェクトの現場（訪問先）への移動時の乗り物の中などで行います。
- 学校側と対面します。
  - 通常、ルーム・トゥ・リードが支援する学校に皆様が到着するタイミングで、校長や主任の先生、生徒と会うこととなります。その際の学校側の対応は様々で、校舎の外か職員室内で簡単に自己紹介をするような、非常にシンプルなものから、食事が用意され、コミュニティ全体が参加するような、大規模な歓迎式典といったものまで想定されます。
  - 訪問者の迎え入れは、ルーム・トゥ・リードが活動する多くの国の文化において大切な習慣であることをご理解ください。飽くまでも、どのようにあいさつをするかは学校側が決めることであり、それゆえ、必ずしもルーム・トゥ・リードから事前に情報提示ができるとは限りません。
- 授業に参加します。
  - 現地訪問中の授業内容は学校側に決定権がありますが、ルーム・トゥ・リード現地スタッフより、日頃と同じような、インタラクティブな授業を盛り込むよう推奨しています。
  - 生徒の多くに、自分達が学んだことを見てもらおうと、必死に目立とうとする行動が見受けられます。それゆえ、授業は生徒とのインタラクティブなやり取りよりも、パフォーマンスの応戦となる傾向があります。
- 現地訪問を終了します。
  - 訪問後、皆様が体験されたことや、ルーム・トゥ・リードの活動についてさらに質問がございましたら、現地訪問の担当リーダーにお問い合わせください。

### 移動について

- 主にルーム・トゥ・リード側で予定を組み、待ち合わせ場所からプロジェクトの現場（訪問先）までの往復交通費を負担します。ただし、同行される人数が多い場合には、皆様自身で調整いただくようお願いする場合があります。

- ルーム・トゥ・リード現地スタッフは、できる限り快適に移動ができ、空調が完備された乗り物を確保できるよう手配をしています。しかし、プログラム実施国の移動手段は、皆様が日常使用しているものに比べると快適性に劣る可能性が高いことを、あらかじめご理解ください。

## コミュニケーション

現地のルーム・トゥ・リードスタッフや学校職員の英語レベルが低く、理解するのが難しいかもしれません。私たちは現地取り組みのサポートに重きを置いているため、スタッフの採用基準として、英語能力よりも優れた計画性を優先しています。コミュニケーションをとる際は、ゆっくり、はっきりと話しかけてみてください。